

陳 述 書

令和4年4月19日

飯田市山本1801-1  
木下悦夫

- 1 私は平成29年当時飯田市役所の建設部長でした。  
特別養護老人ホーム飯田荘の設計に関係して、私は章設計の熊谷章文氏と4回会った記憶があります。  
しかし、だいぶ古いことですので記憶が明確でない部分もあります。
- 2 特養飯田荘の建設については、健康福祉部の長寿支援課が担当しているものであり、契約についての決済権は健康福祉部長にあつて、建設部長だった私には決済権がありませんでした。  
しかし、建設にかかわることですので長寿支援課と建設部建築担当の地域計画課が協力して基本計画を策定しました。
- 3 そして、実施設計書作成業務を落札した章設計と飯田市が実施設計業務委託契約書を締結し設計業務の打ち合わせを始めたところ、章設計の熊谷章文氏が基本計画そのものに対し問題があると言いだして協議が進まなくなりました。  
それは、長寿支援課並びに地域計画課の担当職員からは、業務委託契約締結後の具体的な協議において、熊谷章文氏が高圧的で一方的な語り口で話し、飯田市側のいうことに耳を傾けず話し合いにもならない状況のためであると聞きました。  
記録によると1回目は11月21日に市役所で、建設部長の私と、建築係長、建築係職員（監督員）、健康福祉部長、長寿支援課長が同席し、相手は熊谷章文氏だったとのことでした。契約について権限がある章設計の社長は同席していません。  
その時の熊谷章文氏の主張は、飯田市が策定した施設の基本計画は建築士法違反である。基本計画は一級建築士事務所で管理建築士でなければできないと

の主張に終始していました。

私からは基本計画をもとに現場の意見を聞きながらできないかと提案しましたが、熊谷章文氏は基本計画が認められないという主張を譲らず、飯田市としても当該施設の担当職員が協議に乗ってくれるかわからないこともあり、この日は物別れに終わりました。

- 4 私は、12月に入って建築係職員（監督員）から、熊谷章文氏は長寿支援課ではなく建設部としか話をしないと聞いていたので、主管部の長寿支援課と建設部の地域計画課が困っており、建設部長の私が出向くことによって話がまとまるならと考え熊谷章文氏と面談することにしました。

記録によると、12月13日、24日、28日の3回となっていました。3回とも私一人で章設計の事務所を訪れましたが、面談の相手は熊谷章文氏で社長は同席していません。

13日と24日は飯田市の基本設計に基づく実施設計を作って欲しいとお願いしましたが拒否されました。

3回目の28日にも熊谷章文氏はまた前回と同じことを言っていたので、当方から「基本計画による実施設計をお願いしたい。消防法による構造的なことについては検討していただきたい。平たく言えば検討を重ねて策定した基本計画に示されている間取りで設計してほしい。そうするのに今の工期では足りないとしたら工期延長を検討するように担当課へ伝えることもあるがいかがか。」と伝えました。相手方からは施設担当者（社会福祉協議会）と協議することの仲介を求められましたが、施設担当者に断られたからできないと伝えました。

当方の提案に対し、熊谷章文氏は「この計画ではできない。基本計画からやらなければならない。」ということでしたので、私は「これ以上お話をすることはない。」と言って帰りました。

- 6 その後、私は健康福祉部長に「契約解除にならないよう話をしてみたがこれ以上できない。」と伝えました。

章設計は12月28日に私が工期延長の承諾をしたと主張しているようですが、5項記載のとおり話は物別れに終わり、私が承諾したことはありませんし、現場担当の社会福祉協議会と協議の場を設ける約束もしていません。そもそも契約の担当部署の部長ではない建築部長の私には承諾の権限もありませんし、契約権限のある章設計の代表者も同席しておりません。

また、工期延長するのであれば、章設計から延長願を提出して飯田市が承諾する手続きが必要です。

7 以上が私が熊谷章文氏と話した内容です。私が聞いている飯田市と章設計との交渉の実態から考えれば

- ① 具体的な設計上の協議経過がない。
- ② 主管部の健康福祉部長が契約解除を直接熊谷章文氏に伝えた(聞くところによると、健康福祉部長は熊谷章文氏に桐喝されテーブルを取ると言われたが解除を宣告したとのこと)。
- ③ 書面で契約解除を通知した。
- ④ 章設計は、依頼した内容と全く違うものを成果品として竣工届を提出している(成果品として認められないため後日直接返却した)。
- ⑤ 入札において受注したにも関わらず完成できなかったことから、入札参加の指名停止処分を行ったが、章設計は異議の申立もせず指名停止期間を終了していることは債務不履行を認めているものである。

私は、本件の主管部長であった当時の健康福祉部長はしっかり対応をしていたと思います。